

Daily Report (号外)

～2020年3月の米国雇用統計について～

概要

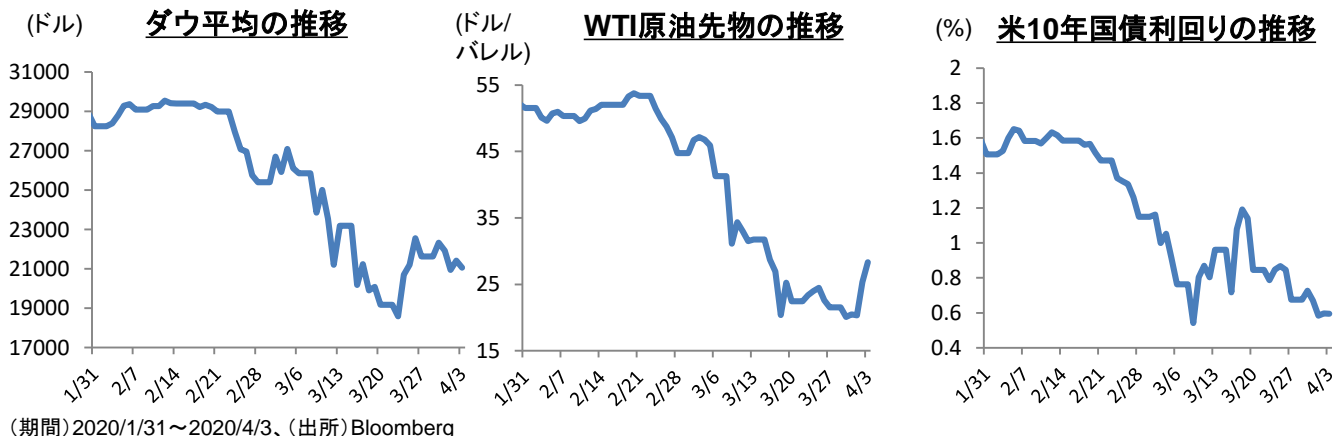
米労働省が3日に発表した3月の雇用統計(速報値、季節調整済)は、非農業部門の就業者数が前月比70.1万人減少と先月(27.5万人増加)から急激に悪化しました。就業者の減少は2010年9月以来、9年半ぶりとなります。また、失業率は4.4%と前月から0.9%悪化しました。統計の調査時点がまだ3月第2週だったこともあり、事前の市場予想(平均)では雇用者増減数が約10万人減、失業率は3.8%とされていましたが、予想とかけ離れた厳しい結果となり、新型コロナウイルスが米経済に与える打撃の深刻さを端的に示唆しています。

就業者数の内訳では、娯楽・接客業のうち飲食産業が41.7万人減と大きな影響を受け、小売業も4.6万人減少しました。失業者数は前月の578万人から714万人へと急増しました。なお、雇用統計の集計は上述の通り3月第2週のため、雇用統計の先行指標である週間の新規失業保険申請件数が3月28日までの2週間で1,000万件に達したことを考慮すると、4月の失業率は10%前後に急上昇する公算が高いと考えられます。

また、米議会予算局(CBO)は2日、4～6月期の国内総生産(GDP)が年率換算で前期比28%以上落ち込むとの見通しを示しています。新型コロナウイルスの感染拡大で景気が大幅に悪化すると見込んでおり、四半期ベースでは米商務省が集計を始めた1947年以降で最大のマイナスとなります。

市場の反応

新型コロナウイルスの感染拡大が弱まる気配が無い上、弱い雇用統計の内容から米景気への懸念が改めて強まったことから、3日の米株式市場は反落しました。ダウ工業株30種平均(ダウ平均)は一時500ドルを超える下げ幅を示し、結局、前日比360ドル91セント安(-1.69%)の2万1052ドル53セントで終わりました。ナスダック総合株価指数は同114.228ポイント安(-1.53%)の7373.083で終わりました。一方、米原油先物が連日の大幅高となったことから石油株などが買われ、ダウ平均を下支えしました。サウジアラビアは2日、石油輸出国機構(OPEC)加盟国やロシアなど非加盟の産油国に協調減産協議のための緊急会合の開催を呼びかけました。また、ロシアのプーチン大統領が「減産に協力したいと述べた」との報道もあり需給悪化の懸念が後退し、WTI(ウエスト・テキサス・インターミディエート)期近の5月物は前日比3.02ドル高(+11.93%)の1バレル28.34ドルで取引を終えました。米国長期債相場は小幅続落し、10年国債利回りは前日比0.01%上昇の0.60%で取引を終えました。弱い米雇用統計を受け一時0.56%まで低下しましたが、今週の国債入札も意識される中、持ち高調整の売りに押される格好となりました。



今後の見通し

今回の雇用統計は、統計調査のタイミングから、新型コロナウイルスが雇用に与える影響としてはまだ序の口の段階と言えます。前述の通り雇用統計の先行指標と位置付けられる新規失業保険申請件数は3月後半の2週間で1,000万件に達していることから、次回4月の雇用統計における非農業部門雇用者数は1,000万人超の減少、失業率は2桁と、過去最悪の水準に達する可能性があります。

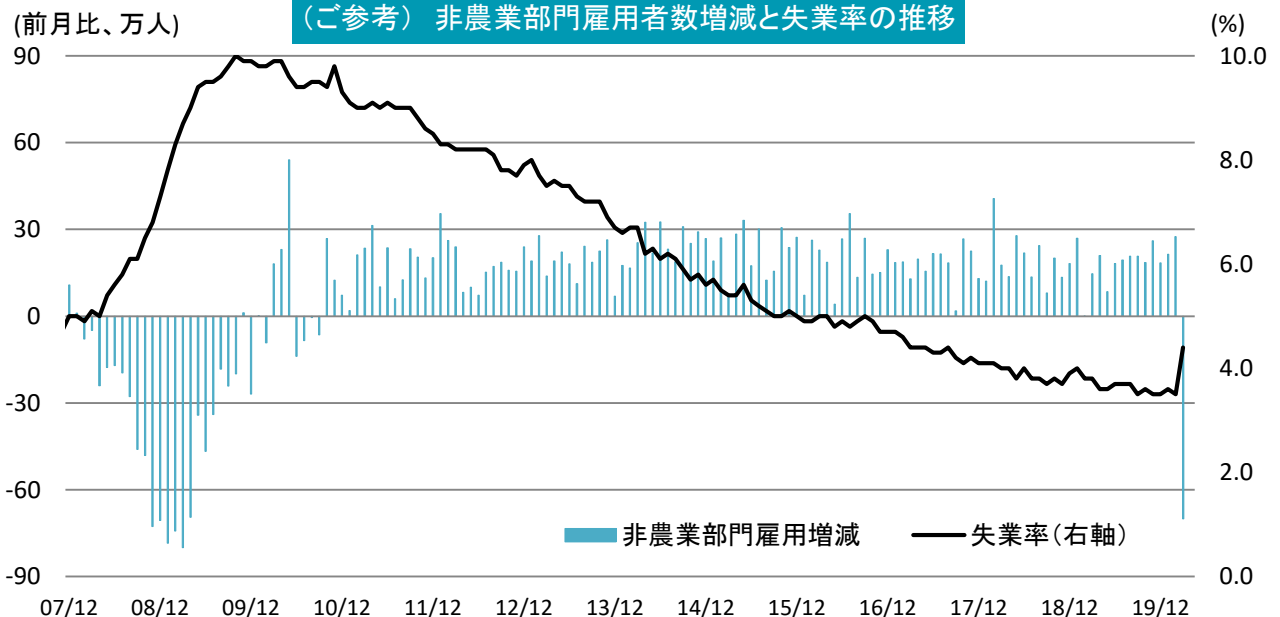
米国では3月27日に、過去最大となる2兆ドル規模の経済対策第3弾が成立したばかりですが、今後発表になる経済指標は軒並み悪化することが見込まれており、トランプ大統領と議会は再度2兆ドル規模と報じられている経済対策第4弾の検討を急ぐと考えられます。

(ご参考) 主要業種別雇用者数増減(前月比・万人)

出所: 米国労働省

	19/10	19/11	19/12	20/1	20/2	20/3
非農業部門	18.5	26.1	18.4	21.4	27.5	-70.1
鉱工業部門	-2.0	4.5	0.5	1.3	5.7	-5.4
建設業	1.7	-0.2	1.6	3.8	4.1	-2.9
製造業	-4.1	5.8	-0.2	-2.2	1.3	-1.8
資源・鉱業	0.4	-1.1	-0.9	-0.3	0.3	-0.7
サービス部門	21.0	20.2	15.9	16.6	18.5	-65.9
卸売業	1.0	0.3	0.7	0.4	-0.2	0.1
小売業	2.2	-1.4	4.1	-0.3	0.1	-4.6
輸送・倉庫業	0.7	2.3	-0.2	2.3	-0.1	-0.5
情報	-0.1	0.9	0.9	1.1	0.3	0.2
金融	2.1	1.2	1.0	0.9	3.1	-0.1
専門・ビジネスサービス業	4.2	3.7	2.2	2.0	3.6	-5.2
人材派遣業	-0.6	0.3	0.5	-0.4	-0.4	-5.0
教育・保険業	4.0	7.3	2.9	6.9	6.5	-7.6
娯楽・接客業	7.0	4.3	4.0	2.4	4.4	-45.9
その他	0.5	1.4	-0.2	1.3	1.2	2.7
政府部門	-0.5	1.4	2.0	3.5	3.3	1.2
失業率(%)	3.6	3.5	3.5	3.6	3.5	4.4
平均時給(前年比、%)	3.2	3.3	3	3.1	3	3.1

(ご参考) 非農業部門雇用者数増減と失業率の推移



(期間)2007年12月~2020年3月 (出所)Bloomberg